

脱炭素時代を生き抜くために ～私たちに求められる暮らし方～



コロナ感染に明け暮れた感のある今年もあとわずかです。

先月末から開催された COP26 では、方向性としては脱炭素に向け、世界が行動することで一致しましたが、具体的な行動については合意に至らない点もあり、特に日本に対しては、石炭火力発電所の継続への強い非難が向けられました。

しかし、「気候変動は 100%人間活動によるもので、その影響は予想以上のスピードで進んでいる」という IPCC 報告が示す通り、悪化の一途をたどっており、私たちに残された時間はわずかです。

そうした中、私たちに求められるのは、「脱炭素時代」というこれまでにない時代を生き抜くための知恵と行動です。

消費を含めた私たちの暮らし方はどうあるべきか、それを可能にするにはどのような考え方が必要かなどについて、講師のお話や環境倫理部会での議論なども参考にして、皆さんとともに考え議論したいと思います。

日時

2021年12月4日(土) 13:30~17:00

方法

Zoomによるオンライン開催

開会挨拶と趣旨説明

話題提供と質疑応答



ロスト欲望社会と消費ミニマリズム

橋本努氏(北海道大学教授)



環境倫理部会からの報告

- (1) 人として求められる暮らしの基本
- (2) 政治に関わる人として
- (3) 消費者として

フリーディスカッション・環境文明21の「宣言」

なぜ今「倫理」なのか、脱炭素時代を生きる「人」としての倫理は十分なのか、政治に関わる人、消費者としての倫理をどう広げていくのか、フリーディスカッションの結果を当会の「宣言」として公表したいと考えています。内容は変更になる可能性があります。

お申込み

2021年12月3日(金)までに

[Info@kanbun.org](mailto:info@kanbun.org) まで

Eメールにてお申し込みください。

*参加にはマイク・スピーカー機能の付いたPC、スマホ、タブレットが必要です。